

平成十七（二〇〇五）年度 妙心寺及び建仁寺の調査報告書まとめ

永井規男
山岡泰造
中谷伸生
長谷洋一
妙心寺・建仁寺調査研究班

妙心寺・建仁寺の調査研究について

妙心寺および建仁寺の建築・障壁画・彫刻の共同調査研究は、平成七年（一九九五）から平成十七年（二〇〇五）までの十年間にわたって、関西大学工学部の永井規男（建築史）を中心に、文学部の山岡泰造（美術史）、中谷伸生（美術史）、長谷洋一（美術史）、加えて、妙心寺及び

建仁寺調査研究班の関西大学大学院生の福井麻純（現在は細見美術館学芸員）、長井建（現在は愛媛県立美術館学芸員）、西垣香、樋上将之、福井博教（現在は蘭島閣美術館学芸員）、堀江亮子（現在は岡墨光堂勤務・修復家）、松川綾子（現在は奈良県立美術館学芸員）、市古喜野（細見美術館学芸員から現在は東京アートベンチャーオフィスショー勤務）らが参加した。

調査にあたり、聖澤院の藤原宗欽住職、春光院の川上史朗住職、金台

時の倉内亨道住職、春浦院の鷺津孝道住職、退蔵院の吉田宗忠住職並びに松山英照住職、大心院の津田清章住職、大法院の肥田自豊住職、大雄院の石河正久住職、養源院の土井克彦住職、建仁寺九昌院の野田文外住職、建仁寺当局及びさまざまな調査でお世話になった美術館、博物館、そして個人所蔵家の方々に感謝を申し上げます。

〈論文・資料紹介等〉

再考・妙心寺聖澤院書院障壁画

―狩野典信筆「山水・麒麟図」及び「竹林七賢図」― 中谷伸生

吉野右京についての覚書 長谷洋一

〈資料〉

狩野栄川院典信の障壁画図版・平面図・障壁画記号・寸法

吉野右京の彫刻図版・法量